



第21回生研フォーラム「広域の環境・災害リスク情報の収集と利用」

日時：平成24年3月12日(月) 9:30-18:00, 13日(火) 10:00-15:00

場所：東京大学生産技術研究所 (駒場IIリサーチキャンパス) D棟 大セミナー室Dw601

京王井の頭線 駒場東大前・池ノ上駅 徒歩10分, メトロ千代田線・小田急線 代々木上原駅 徒歩15分, 小田急線 東北沢駅 徒歩10分

駒場IIキャンパスまでの地図 (<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>)

連絡先：03-5452-6411 (沢田教授室直通)

*発表時間: 12分, 質疑応答: 3分

事前申し込みがなくてもどなたでも自由に聴講が可能です

キャンパス内に食堂とお弁当や飲み物が購入可能な生協があります。

懇親会は実費1000円を頂いております。当日の飛び入り参加も大歓迎です。

平成24年3月12日(月) 1日目

9:30 - 受付開始 (モーニングコーヒー) 大セミナー室Dw601入り口

9:50 - 10:00 開会挨拶 沢田 治雄 (東大生研 ICUS 教授)

都市と交通

10:00 - 10:15	メッシュ法による東京大都市圏の都市域変化分析	○Hasi Bagan(国環研)・山形与志樹(国環研)
10:15 - 10:30	Huhhot bus transportation inquiry system based on MapX and SQL server database	○Sudesuriguge(東大院)・Zhang Qiaofeng(内モンゴル師範大学)
10:30 - 10:45	MTSAT地表面温度推定に最適な水蒸気プロダクトの選定	○赤塚慎(山梨環境研)・大吉慶(JAXA EORC)・その他1名
10:45 - 11:00	ALOS/PALSAR画像を用いたグローバル都市域マッピング手法の検討	○板橋孝一郎(東大生研)・宮崎浩之(アジア開発銀行)・その他3名
11:00 - 11:15	発展途上国の諸都市における人の流れデータセット構築手法の開発	○渡邊淳人(東大空間情報)
11:15 - 11:30	アジアメガシティにおける人為起源PM2.5排出量の推定	○岸浩稔(東大院)・竹内 渉(東大生研)

11:30 - 13:00 昼食 (90分)

東日本大震災特別セッション

13:00 - 13:15	東日本大震災におけるリモートセンシングの利用状況	○沢田治雄(東大生研)
13:15 - 13:30	リモートセンシング画像を用いた2011津波による沿岸林被害の調査報告	○越智士郎(東大生研)・沢田治雄(東大生研)・その他1名
13:30 - 13:45	リモートセンシングを用いた津波浸水域把握に関する研究	○中尾悠士(東大院)・沢田治雄(東大生研)
13:45 - 14:00	大規模震災における空間情報技術の応用 -東北地方太平洋沖地震への初動対応と復興支援-	○岸浩稔(東大院)・徳永冠也(東大生研)・その他6名
14:00 - 14:15	ALOS災害観測データのオルソ補正画像作成とその精度評価	○木村一星(弘前大)・丹波澄雄(弘前大)・その他1名
14:15 - 14:30	災害に関連したテキストデータの可視化手法の開発	○澤田義人(東大生研)・沼田宗純(東大生研)・その他3名
14:30 - 14:45	被災地の情報把握のためのコンテキストベースド逆ジオコーディング	○遠藤弘隆(芝浦工大)・板谷寛(芝浦工大)・その他1名

14:45 - 15:00 休憩 (15分)

水文と大気計測

15:00 - 15:15	氾濫原水動態モデリングに必要な衛星地形データの誤差解析と修正	○山崎大(東大院)
15:15 - 15:30	過去30年にわたるチャオブラヤ川の氾濫面積推定手法の開発	○竹内渉(東大生研)・Preesan Rakwatin(GISTDA)
15:30 - 15:45	ブラジリアマゾン森林におけるALOS/PALSARを用いた雨季浸水林の判定	○徳永冠也(東大生研)・沢田治雄(東大生研)・他2名
15:45 - 16:00	GISを用いた時刻別全天日射量分布図の作成	○赤塚慎(山梨環境研)・杉田幹夫(山梨環境研)
16:00 - 16:15	全天カメラを用いた全天・散乱PARの推定	○山下恵(近畿測量専門学校)・吉村充則(パスコ)
16:15 - 16:30	MODIS雲マスクを利用したMTSAT毎時雲マスクプロダクトの作成	○大吉慶(JAXA EORC)・赤塚慎(山梨環境研)・その他2名
16:30 - 16:45	熱赤外差画像に観る黄砂・火山灰煙	○飯野直子(熊本大)・金柿主税(熊本看護学校/鹿児島大)

16:45 - 17:00 休憩 (15分)

3次元地上計測とGPS

17:00 - 17:15	準天頂衛星みちびき初号機のL1-SAIF/L1-CAの初期精度評価	○徳永光晴(金沢工大)・長岡雄太(金沢工大)・その他2名
17:15 - 17:30	平面形状を対象とした連続視点三次元データの合成	○落合健太(芝浦工大)・中川雅史(芝浦工大)
17:30 - 17:45	護岸ブロックの形状を用いたLiDARによる地すべり変位観測手法の開発	○秋山心平(高知工科大)・高木方隆(高知工科大)
17:45 - 18:00	ステレオカメラを用いた流動土砂面の点群データ取得	○中西杏奈(芝浦工大)・中川雅史(芝浦工大)

18:00 - 19:30 懇親会

平成24年3月13日(火) 2日目

アルゴリズム開発

10:00 - 10:15	粒子フィルターを用いたマルチバンド対応時系列モデルの開発	○澤田義人(東大生研)・遠藤貴宏(東大生研)・その他1名
10:15 - 10:30	Comparison of cloud filter techniques supplemented by meteorological data of time series of satellite imagery for deforestation monitoring	○Salinthip Kungvalchokechai(東大院)・Haruo Sawada(東大生研)
10:30 - 10:45	NOAA/AVHRRデータ処理パッケージPaNDAの現状と今後	○丹波澄雄(弘前大)
10:45 - 11:00	Identify seasonal changes using DEM generated by SAR Interferometry: A case study in Osh province Kyrgyzstan	○Chandima N Subasinghe(東大院)・Wataru Takeuchi(東大生研)・その他1名
11:00 - 11:15	衛星LiDARの波形シミュレーター開発	○遠藤貴宏(東大生研)・澤田義人(東大生研)・その他1名
11:15 - 11:30	Development of advanced field survey system (FSS) for land user and land cover applications	○Van Ngoc An(東大生研)・Oo Kyaw Sann(東大生研)・その他1名

11:30 - 13:00 昼食 (90分)

森林と農地

13:00 - 13:15	MODISの森林減少情報を用いた森林被覆図の更新	○中園悦子(東大生研)・沢田治雄(東大生研)・その他3名
13:15 - 13:30	LiDAR assessment of forest ecological structure	○三浦直子(東大農)
13:30 - 13:45	インドネシアにおける乾燥泥炭地からのCO2排出削減のためのMRV (第一報)	○平山彰彦(清水建設)・澤村元一朗(清水建設)・その他2名
13:45 - 14:00	Elimination of Yearly Variation from MODIS Global Land Cover Product	○Oo Kyaw Sann(東大生研)・Van Ngoc An(東大生研)・その他1名
14:00 - 14:15	Integration of satellite and ground data measurement for the crop monitoring	○若森弘二(有人宇宙システム)・市川ドルジュ(有人宇宙システム)・その他1名
14:15 - 14:30	Performance of drought indices towards rice yield estimation and agricultural policy planning in Java island Indonesia	○細矢雄士(東大院)・竹内渉(東大生研)
14:30 - 14:45	森林域における衛星画像シミュレーションとその活用	○池澤勇太(高知工科大)・高木方隆(高知工科大)

14:45 - 14:55 閉会挨拶 竹内 渉 (東大生研 人間社会系部門 准教授)